



石田和子 代表質問

■追加補正予算で 物価高への対策を実施

■長年の保育士の願い 保育士配置基準の改善を

神奈川県議会は、本議会で補正予算案など21議案を可決・同意・承認。共産党県議団は5議案に反対しましたが、他の会派は全議案に賛成しました。

市民とともに
県政を動かす！

戦争する国づくり
ストップを！



医療機関や高齢者施設等への補助を

食材費、光熱費、ガソリン代などの高騰で、医療機関や高齢・障がい者施設などの運営が厳しくなっています。

値上げ分を「利用料に転嫁できない」等の現場の切実な声を紹介。地方創生臨時交付金を活用して、早急に補助すべきと質問。

知事は、「新たな財源が確保された場合は、追加の補正予算を早急に編成したい」と応じ、その後、国からの交付金を使った追加の補正予算が可決されました。

配置基準の改善、保育士を増やして！

省令で規定される保育士配置基準は、1・2歳児6人に保育士一人と55年前のまま、4・5歳児30人に保育士一人と74年前のまま。

国からの低い補助では保育士の原則1日11時間のシフトを組めない上に、コロナの感染防止業務で、より多忙になっていると指摘。安全でゆき届いた保育の実現と保育士が継続して働くことができるよう、配置基準の引き上げを国に要望するとともに、県としても保育士を増やすよう要求。

国への要望も県独自の加配もしないとの知事の冷たい答弁に、「これは保育士の長年の悲願だ」と強く訴えました。

■保育所現地での監査を

また、保育所は都道府県による原則年一回の現地での監査が義務づけられていますが、リモート化されようとしています。避難路の確保、保育士配置や保育内容の確認など現地での監査の重要性を指摘し、実施率100%を求めました。

児童福祉施設最低基準 (昭和23年)

乳幼児	保育士配置基準
0歳児	3:1 乳児3人につき保育士1人以上
1・2歳児	6:1 幼児6人につき保育士1人以上
3歳児	20:1 幼児20人につき保育士1人以上
4歳児以上	30:1 幼児30人につき保育士1人以上

コロナ後遺症への支援の充実を

倦怠感、頭痛、認知機能の低下などの症状で苦しむオミクロン株の後遺症への対応医療機関を増やし、生活相談を含めた後遺症相談窓口の設置を要求。



知事は、専門外来の医師を講師に、医療機関向けの診断や治療方法などの研修会に取り組み、当初は120カ所だった対応医療機関を200カ所以上に増やし、コロナ専用ダイヤルに生活相談があった場合は、生活支援総合相談窓口を紹介すると答弁。

行政のチェック機能

議会の役割の発揮を

井坂しんや県議 反対討論



[葉山港の指定管理者の選定議案]

県は葉山港指定管理者候補として、横須賀市の佐島漁港芦名地区で無許可で140本もの杭を打ち浮き橋をつくるなど、何件もの条例違反を繰り返して行政指導を受け、行政罰である過怠金を課せられた事業者を選定。

県は指定管理者の外部評価委員会に条例違反等を報告しておらず、評価点数が「コンプライアンス」や「事故・不祥事への対応」の2項目とも5点満点中4点と高くなっています。

県は、条例違反は「重大な事故や不祥事に当たらない」、過怠金は「社会的に大きな影響を及ぼすものではない」と答弁。この姿勢は行政罰を矮小化し、県民の法令遵守の意識を低下させるもので、著しく公正性を欠き、県民の理解は到底得られません。議会に行政のチェック機能が強く求められた議案でしたが、審議結果は、日本共産党以外の全会派が賛成し、可決。



現在の葉山港



当事者目線の障害福祉推進条例に 障害者権利条約の精神を反映

= 厚生常任委・石田和子県議の質問で改善！ =

- 1 障がい者の人権や尊厳をもって生活する権利の実現を謳う障害者権利条約と障害者差別解消法の理念を、前文に入れるように要求し、趣旨が盛り込まれた。
- 2 「障害を理由とする差別虐待等の禁止」を明記すべきと要求。「何人も…尊厳を害する行為をしてはならない」と明記された。
- 3 障害を理由とする差別に関する相談窓口の強化と、紛争の解決を図る体制を要求。第13条に「体制を整備すること」と「あっせんを行うこと」が明記された。



- 4 「人材確保」のために、「財政上の措置」を義務規定にすべきと要求。「人材確保、育成」は義務規定に修正され、就労実態の把握を行うことも明記された。
- 5 今回の条例案の検討において、障がい当事者が参画する検討委員会は設置されず、今後の見直しの際には設置すべきと要求。

条例案に「多様なニーズに対応できる受け入れ態勢の整備・拡充、担い手人材の育成・確保、処遇改善、実効性を担保するために財政支援と推進体制の機能強化」を求める意見を付して、本会議で全会一致で可決。今後、条例に則った施策の充実に取り組みます。

条例に
求めた
追加
が実現



常任委員会での 主な取り組み

■高齢者施設のコロナのクラスター発生防止と重症化を防ぐために

引続き、感染者が一人の段階で集中検査を実施することと、早期治療で重症化を防ぐ対策を要求しました。

県は、県庁の検体採取チームを4月から半年間で150施設に派遣。また、中和抗体の投与中心に往診する医療機関を募集し、昨年12月には13医療機関だったが、現在、服薬投与を含め50医療機関が登録していただいていると答弁。



石田和子
厚生

■農地減少を食い止め自給率向上を

本県の農地面積は年々減少し、食料自給率は2%となっています。全国的な課題ですが、県も自給率向上のために取り組むことは大変重要です。

農地面積減少の理由の一つに、県が経済発展のために都市開発計画を進めた結果であることが明らかとなりました。

政策の柱に農業を位置付け、これ以上農地を減らさないよう求めました。



上野たつや
環境農政

●横浜と川崎を合わせて県立図書館司書118名の内、非正規の司書は76名。正規化を求めました。

●特別支援学校の教員から、新年度準備のために、始業日を遅らせ春休みの期間を調整してほしいとの要望があり、質疑。県教育委員会は検討すると答弁。

●県立高校改革再編統合案と定時制募集停止案が委員会当日に示されたため、審議を保障する日程を求めました。また、県立高校統廃合と定時制募集は、反対の声も多く見直しを求めました。

●これまでも改善を求めてきた校則見直しについて、進捗状況を確認しました。



君嶋ちか子
文教

■がけ地の安全対策として「がけ地近接等危険住宅移転事業」の実施を

県はがけ崩れなどの恐れがある地域を土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定しています。

国は、この区域から住民が移転する際の経費などを補助する制度をつくりました。

代表質問でも取り上げましたが、広島県や福岡県など10以上の府県が、市町村と協調してこの制度を活用しています。神奈川県も制度を活用するよう質しました。

県は、市町村の意向を確認し、検討すると答弁しました。



井坂しんや
建設・企業

■インボイス制度の導入中止を

小規模・零細事業者泣かせのインボイス制度導入を翌年に控え、免税業者への打撃を確認。全国423の議会から中止等を求める意見書が出されていることから、国へ中止か少なくとも延期を要請することを求めました。

■外国人労働者向けの相談体制改善を

家事支援労働者や技能実習生など、外国人の労働問題が顕発しているため、県の相談窓口にアクセスしやすいよう改善を求め、検討すると答弁がありました。



大山奈々子
産業労働

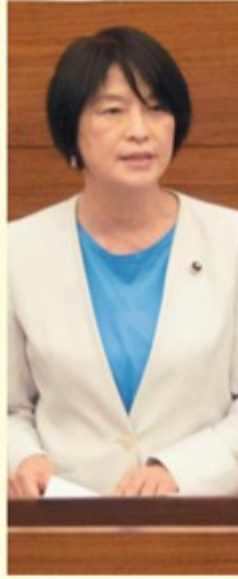
大山奈々子 一般質問

安心して

■精神障がい者が 地域で暮らすために

様々な障がい者団体との懇談を通じて、精神障がい者が地域で暮らす困難な実態が浮き彫りになりました。

精神障がい者の救急医療や住まい、精神障がいを理解する教育の充実を求めました。また、相談体制強化のために精神保健福祉士の採用枠を求めました。県内の資格者は増えていますが、県には採用枠がありません。知事は、福祉職の中から専門人材として育成すること、また、採用パンフレットを改訂し、大学等を通して広報すると答弁。



■スポーツ基本法の精神を尊重したスポーツ行政

藤沢の県立スポーツセンターは民間手法を取り入れたPFI事業として再整備され、利用料金が2~3倍以上に。優先利用枠に県の関連団体やPFI事業者のイベントが位置づけられ、一般利用が著しく制限されました。

公益性を重視するよう是正を求め、スポーツ局長は、より広く利用いただけるよう努めると答弁しました。

県立スポーツセンター利用料金比較

	県立スポーツセンター	旧・県立体育センター	
駐車場	1時間超は有料	無料	
トレーニングルーム(一般・1人1回)	500円/回	無料	
スポーツアリーナ(メインフロア全面)	3,400円/時間	2,260円/時間	1.5倍に
プール(小学生・1人1回)	300円/回	100円/回	3倍に
宿泊室(一般・1人1泊)	3,000円/泊	820円/泊	3.7倍に



■有機フッ素化合物汚染の原因調査

消火剤に多く含まれ発がん性が疑われる有機フッ素化合物(PFOS等)汚染の原因調査について、前回6月の本会議の答弁で「測定値が上昇傾向にあれば原因調査をする」と答えたにも関わらず、上昇と判断する客観的な指標がありません。昨今の厚木基地や横須賀基地での流出もあり、指標を設けることと原因調査の実施を求めました。

質問後、再び厚木基地のPFOS大量流出事故を受け、国・県・関係市による立ち入り調査が行われました。県内の米軍基地では初のことです。

また、本会議で総務政策常任委員会提案の「在日米軍基地からの相次ぐPFOS等の流出に対し抜本的対策を求める意見書案」を、全会一致で可決しました。

■その他に、安全なファミリー・サポート・センター事業、ハラスメントが要因と思われる県警察署員の拳銃自死事件、米軍オスプレイの飛行停止などについても取り上げました。

引地川水系有機フッ素化合物調査結果の推移(抜粋)

河川名	調査地点	PFOS及びPFOA合計値(ng/L)		
		2021年1月	2021年8月	
引地川	大和・草柳橋	11	14	
引地川	大和・福田橋	110	340	3.1倍に
蓼川	綾瀬・厚木基地上	13	17	
引地川	藤沢・下土棚大橋	88	170	1.9倍に
引地川	藤沢・富士見橋	51	170	3.3倍に

(注)環境省の暫定指針値はPFOS及びPFOAの合計値が「50ng/L以下」



■主な請願・陳情・意見書の審査結果

番号	件名	審査結果	共産	自民	立民	公明	民主	県政	わ町	神奈	瀬谷	厚木
請願44	私学助成等について請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情121	カルト宗教と政治家との関係について陳情	不了承	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情122	葉山港の指定管理者候補選定の検証について陳情	不了承	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情123	鎌倉市由比ヶ浜地下駐車場の地下2階駐車スペースの閉鎖時有効利用について陳情	不了承	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
陳情124	どんな障がいがあっても安心して豊かに暮らせる地域共生社会づくりについて陳情	継続審査	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△
共産党提案の意見書	永住外国人に地方参政権を保障するための法制度の創設を求める意見書(案)	否決	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	精神障がい者の生活基盤整備・支援の充実及び精神病床の適正な人員配置の実現を求める意見書(案)	否決	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×

(注)会派の態度：[請願] ○採択 △継続審査 ×不採決 [陳情] ○了承 △継続審査 ×不了承 / 付託委員会に所属無し [意見書] ○可決 ×不決